

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔米国基準〕（連結）

平成26年7月29日

上場会社名 オムロン株式会社

上場取引所 東証 市場第一部

コード番号 6645

URL <http://www.omron.co.jp/>

代表者 役職名 代表取締役社長
氏名 山田 義仁

問合せ先責任者 役職名 執行役員 グローバル理財本部長
氏名 大上 高 充

TEL (075)344-7070

四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無

四半期決算説明会開催の有無 : 有・無 (投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	197,219	13.0	19,814	52.3	21,407	68.5	15,493	67.5
26年3月期第1四半期	174,584	16.5	13,014	59.1	12,702	86.1	9,247	95.9

(注) 四半期包括利益 27年3月期第1四半期 7,225百万円(△63.1%) 26年3月期第1四半期 19,578百万円(—%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	
	円	銭	円	銭
27年3月期第1四半期	70	40	—	—
26年3月期第1四半期	42	01	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	643,041	439,985	437,655	68.1
26年3月期	654,704	432,778	430,509	65.8

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	— —	25 00	— —	28 00	53 00
27年3月期	— —	— —	— —	— —	— —
27年3月期(予想)	— —	27 00	— —	36 00	63 00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	400,000	11.2	39,000	26.7	40,000	33.2	29,000	37.0	131	77
通期	800,000	3.5	74,000	8.7	71,000	14.5	51,000	10.4	231	73

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

第2四半期(累計)連結業績予想の修正については、本日(平成26年7月29日)公表いたしました「平成27年3月期第2四半期(累計)連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、通期の業績予想は修正しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有・無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用： 有・無

(3) 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有・無
 ② ①以外の会計方針の変更： 有・無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	227,121,372株	26年3月期	227,121,372株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	7,036,563株	26年3月期	7,032,043株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	220,086,753株	26年3月期1Q	220,126,832株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因には、(a) 当社グループの事業領域を取り巻く日本および海外の経済情勢、(b) 当社グループ製品・サービスに対する需要動向、(c) 新技術開発・新商品開発における当社グループの能力、(d) 資金調達環境の大幅な変動、(e) 他社との提携・協力関係、(f) 為替・株式市場の動向、(g) 事故・震災などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、P. 6「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。
- 当社は、米国会計基準に基づき連結損益計算書の表示形式としてシングルステップ方式（段階利益を表示しない方式）を採用していますが、他社との比較可能性を高めるため、当決算短信の「営業利益」は、「売上総利益」から「販売費及び一般管理費」、「試験研究開発費」を控除したものを表示しています。
- 当社は、平成26年7月29日（火）に投資家向け説明会を開催する予定です。その模様および説明内容（音声）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(注) 事業の種類別セグメントの名称を次のとおり略して記載しています。

- I A B : インダストリアルオートメーションビジネス（制御機器事業）
 E M C : エレクトロニック&メカニカルコンポーネントビジネス（電子部品事業）
 A E C : オートモティブ&エレクトロニックコンポーネントビジネス（車載事業）
 S S B : ソーシャルシステムズ・ソリューション&サービスビジネス（社会システム事業）
 H C B : ヘルスケアビジネス（ヘルスケア事業）
 その他 : 環境事業本部、電子機器事業本部、マイクロデバイス事業推進本部、バックライト事業など

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 6
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 6
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 6
(3) 会計方針の変更	P. 6
3. 四半期連結財務諸表	P. 7
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括損益計算書	P. 9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 12
(継続企業の前提に関する注記)	P. 12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 12
(セグメント情報等)	P. 12
4. 補足情報	P. 14
(1) 連結業績概要	P. 14
(2) 連結セグメント別売上高実績	P. 15
(3) 連結セグメント別営業利益実績	P. 15
(4) 期中平均レート実績	P. 15
(5) 連結セグメント別売上高予想	P. 16
(6) 連結セグメント別営業利益予想	P. 16
(7) 期中平均レート予想	P. 16

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

○ 全般的概況

当第 1 四半期（平成 26 年 4 月～6 月）における当社グループの業績は、前年同期比で大幅な増収増益となりました。売上高は全事業セグメントで増収となり、特に I A B（制御機器事業）、E M C（電子部品事業）、A E C（車載事業）、その他事業が好調に推移しました。営業利益は I A B、E M C、その他事業が好調に推移しました。

当第 1 四半期の経済環境認識は以下のとおりです。

<各地域の経済・市場概況>

日本： 消費税増税の影響が一部に見られたものの、政府の経済対策などを背景に総じて堅調
 米国： 住宅市場の持ち直し、雇用・所得環境の改善や企業活動の拡大などで堅調
 欧州： 一部の国での政情不安はあるが、景況感は緩やかな回復傾向
 中国： 政策効果や一部の業界での投資拡大などを背景に、景気は持ち直しの兆しあり
 アジア： 一部の国での政情不安はあるが、総じて景況感は横ばい

<当社グループの主な関連市場の状況>

自動車関連： 国内・海外の設備投資需要が回復傾向にあり、部品需要は海外で好調
 半導体関連： スマートフォンなどの需要拡大により、設備投資需要は回復傾向
 工作機械関連： 国内・海外の設備投資需要は回復傾向
 家電・電子部品関連： 設備投資需要は回復傾向、部品需要は新興国などで好調
 健康機器関連： 一部の国での政情不安はあるが、総じて需要は堅調

また、当社グループは 2014 年 4 月より新たな中期経営計画として VG2020 の EARTH-1 STAGE をスタートさせ、当期の年度方針を「Start Up EARTH-1 “自走的”な成長構造の確立」としています。実行プランとして「既存事業戦略」、「超グローバル戦略」、「最適化新規事業戦略」、「収益構造改革」、「グローバル人財戦略」などを重点的に実行しています。

結果としての当第 1 四半期連結累計期間の業績結果は以下のとおりです。

	平成 26 年 3 月期 第 1 四半期連結累計期間	平成 27 年 3 月期 第 1 四半期連結累計期間	増減率
売 上 高	1,745 億 84 百万円	1,972 億 19 百万円	+13.0%
営 業 利 益	130 億 14 百万円	198 億 14 百万円	+52.3%
税引前四半期純利益	127 億 2 百万円	214 億 7 百万円	+68.5%
当社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	92 億 47 百万円	154 億 93 百万円	+67.5%
米ドル平均レート	98.3 円	102.0 円	+3.7 円
ユーロ平均レート	127.6 円	139.9 円	+12.3 円

○ セグメント別の状況

I A B (制御機器事業)

		平成 26 年 3 月期 第 1 四半期連結累計期間	平成 27 年 3 月期 第 1 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	国内	262 億 25 百万円	288 億 69 百万円	+10.1%
	海外	405 億 43 百万円	493 億 79 百万円	+21.8%
	合計	667 億 68 百万円	782 億 48 百万円	+17.2%
営業利益		76 億 55 百万円	119 億 7 百万円	+55.5%

<国内売上高の状況>

自動車・電子部品関連事業などで設備投資需要が好調に推移し、当第 1 四半期における国内売上高は、前年同期比で大きく増加しました。

<海外売上高の状況>

米州では、オイル&ガス関連事業での需要が堅調に推移しました。欧州では、主要国や新興国での緩やかな市況回復基調に支えられ需要は堅調に推移しました。アジアでは、政情不安や通貨安の影響を受け、需要は低調に推移しました。中国では、電子・自動車業界で需要が堅調に推移しました。これらの結果、当第 1 四半期における海外売上高は、前年同期比で大きく増加しました。

<営業利益の状況>

売上高の増加などにより、営業利益は前年同期比で大きく増加しました。

EMC (電子部品事業)

		平成 26 年 3 月期 第 1 四半期連結累計期間	平成 27 年 3 月期 第 1 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	国内	70 億 19 百万円	64 億 42 百万円	△8.2%
	海外	166 億 74 百万円	198 億 70 百万円	+19.2%
	合計	236 億 93 百万円	263 億 12 百万円	+11.1%
営業利益		15 億 40 百万円	23 億 82 百万円	+54.7%

<国内売上高の状況>

業務民生業界における需要は堅調に推移しましたが、自動車関連業界や家電業界では消費税増税の影響などにより需要は低調に推移しました。これらの結果、当第 1 四半期における国内売上高は、前年同期比で減少しました。

<海外売上高の状況>

米州と欧州では業務民生業界における需要は堅調に推移しました。アジアでは自動車業界における需要が拡大しました。中国では業務民生業界における新規商談の獲得に加え、家電業界での売上拡大などにより好調に推移しました。これらの結果、当第 1 四半期における海外売上高は、前年同期比で大きく増加しました。

<営業利益の状況>

売上高の増加などにより、営業利益は前年同期比で大きく増加しました。

A E C (車載事業)

		平成 26 年 3 月期 第 1 四半期連結累計期間	平成 27 年 3 月期 第 1 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売 上 高	国内	60 億 86 百万円	67 億 91 百万円	+11.6%
	海外	232 億 4 百万円	259 億 87 百万円	+12.0%
	合計	292 億 90 百万円	327 億 78 百万円	+11.9%
営 業 利 益		22 億 10 百万円	22 億 75 百万円	+2.9%

<国内売上高の状況>

消費税増税の影響はあったものの、軽自動車の販売好調などにより、当第 1 四半期における国内売上高は、前年同期比で大きく増加しました。

<海外売上高の状況>

米州では好調な米国経済を背景に需要が拡大しました。欧州では回復傾向にはあるものの、需要は低調に推移しました。中国・アジアでは市場の拡大が続き好調に推移しました。これらの結果、当第 1 四半期における海外売上高は、前年同期比で大きく増加しました。

<営業利益の状況>

売上高の増加などにより、営業利益は前年同期比で増加しました。

S S B (社会システム事業)

		平成 26 年 3 月期 第 1 四半期連結累計期間	平成 27 年 3 月期 第 1 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売 上 高		127 億 74 百万円	131 億 30 百万円	+2.8%
営 業 利 益 (△ 損 失)		△18 億 34 百万円	△14 億 78 百万円	—

<駅務システム事業の売上高の状況>

鉄道事業各社の駅務機器に対する設備投資の更新需要は引き続き堅調に推移しており、当第 1 四半期における売上高は、前年同期比で増加しました。

<交通管理・道路管理システム事業の売上高の状況>

交通管制システムなどの投資需要の減少により、当第 1 四半期における売上高は、前年同期比で減少しました。

<環境ソリューション事業の売上高の状況>

太陽光発電関連商品の堅調な需要により、当第 1 四半期における売上高は、前年同期比で大きく増加しました。

<営業利益の状況>

売上高の増加などにより、営業利益は前年同期比で損失額が減少しました。

HCB (ヘルスケア事業)

		平成 26 年 3 月期 第 1 四半期連結累計期間	平成 27 年 3 月期 第 1 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高	国内	68 億 6 百万円	65 億 86 百万円	△3.2%
	海外	141 億 40 百万円	154 億 89 百万円	+9.5%
	合計	209 億 46 百万円	220 億 75 百万円	+5.4%
営業利益		22 億 14 百万円	18 億 98 百万円	△14.3%

<国内売上高の状況>

家庭向け健康医療機器の需要は消費税増税の影響に起因した、市場の在庫調整の影響を受け、当第 1 四半期における国内売上高は、前年同期比で減少しました。

<海外売上高の状況>

欧州では、ロシア経済の低迷やウクライナなどの一部の国における政情不安の影響を受け、需要は低調に推移しました。中国を始めとする新興国での需要は好調に推移しました。これらの結果、当第 1 四半期における海外売上高は、前年同期比で増加しました。

<営業利益の状況>

海外における事業強化への取り組みなどにより、営業利益は前年同期比で減少しました。

その他事業

		平成 26 年 3 月期 第 1 四半期連結累計期間	平成 27 年 3 月期 第 1 四半期連結累計期間	増減率
外部顧客に対する 売上高		195 億 33 百万円	233 億 55 百万円	+19.6%
営業利益		21 億 66 百万円	37 億 97 百万円	+75.3%

その他のセグメントでは、新規事業の探索・育成と、社内カンパニーに属さない事業の育成・強化を本社直轄事業として担当しています。

<環境事業の売上高の状況>

再生可能エネルギーへの関心の高まりを背景に、引き続き国内市場におけるソーラーパワーコンディショナの需要が拡大し、当第 1 四半期における売上高は、前年同期比で大きく増加しました。

<電子機器事業の売上高の状況>

無停電電源装置の需要拡大や産業用組込みコンピュータの需要回復などにより、当第 1 四半期における売上高は、前年同期比で増加しました。

<マイクロデバイス事業の売上高の状況>

マイクロフォンの需要増により、当第 1 四半期における売上高は、前年同期比で増加しました。

<バックライト事業の売上高の状況>

スマートフォン市場の拡大を背景に高性能バックライトの需要が好調に推移し、当第 1 四半期における売上高は、前年同期比で増加しました。

<営業利益の状況>

各事業の売上高の増加などにより、営業利益は前年同期比で大きく増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第 1 四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末に比べ、受取手形及び売掛金の減少などにより 116 億 63 百万円減少して、6,430 億 41 百万円となりました。また、負債の部は未払費用などの減少により、前連結会計年度末に比べ 188 億 70 百万円減少して、2,030 億 56 百万円となりました。純資産の部は当社株主に帰属する四半期純利益の計上に加え、売却可能有価証券未実現損益の変動等により、前連結会計年度末に比べ 72 億 7 百万円増加し、4,399 億 85 百万円となりました。株主資本比率は前連結会計年度末の 65.8%から 68.1%となりました。

当第 1 四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況については、営業活動によるキャッシュ・フローは、非支配持分控除前四半期純利益の計上に加え売上債権の回収により、214 億 57 百万円の収入（前年同期比 36 億 24 百万円の収入増）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローでは、生産設備等への積極的な投資を進めました。なお、投資有価証券の売却収入の増加もあり、投資活動によるキャッシュ・フローは、25 億 84 百万円の支出（前年同期比 29 億 72 百万円の支出減）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、短期債務の返済に加え、配当金の支払いにより、66 億 24 百万円の支出（前年同期比 52 億 11 百万円の支出増）となりました。以上より、現金及び現金同等物の当第 1 四半期連結会計期間末残高は前連結会計年度末に比べ 117 億 6 百万円増加し、1,019 億 57 百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第 1 四半期の業績は、全事業セグメントで増収となるなど好調に推移しました。また、第 2 四半期以降も引き続き需要は堅調に推移するものと予想しています。このような環境認識に基づき、第 2 四半期（累計）連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

一方、通期の連結業績予想につきましては、平成 26 年 4 月 24 日発表の業績予想を据え置きます。

なお、第 2 四半期以降の業績予想の前提としております為替レートは、1 米ドル 100 円、1 ユーロ 135 円です。

業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により異なる可能性があります。

〈第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正〉

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	税引前 四半期純利益	当社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 当社株主に帰属 する四半期純利益
前回発表予想 (A)	376,000	31,000	30,500	22,000	99 円 96 銭
今回修正予想 (B)	400,000	39,000	40,000	29,000	131 円 77 銭
増減額 (B - A)	+24,000	+8,000	+9,500	+7,000	—
増減率 (%)	+6.4%	+25.8%	+31.1%	+31.8%	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 3 月期 第 2 四半期)	359,726	30,786	30,033	21,174	96 円 19 銭

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成26年3月31日)		当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
		%		%
(資 産 の 部)				
流 動 資 産	396,493	60.6	397,063	61.8
現金及び現金同等物	90,251		101,957	
受取手形及び売掛金	174,216		160,373	
貸倒引当金	△ 1,812		△ 1,774	
たな卸資産	97,677		102,798	
繰延税金	22,688		21,490	
その他の流動資産	13,473		12,219	
有 形 固 定 資 産	135,566	20.7	134,558	20.9
土地	26,344		26,274	
建物及び構築物	140,495		139,955	
機械その他	171,192		172,956	
建設仮勘定	7,126		6,832	
減価償却累計額	△ 209,591		△ 211,459	
投 資 そ の 他 の 資 産	122,645	18.7	111,420	17.3
関連会社に対する 投資及び貸付金	21,349		20,982	
投資有価証券	51,117		43,216	
施設借用保証金	6,950		6,935	
繰延税金	20,918		20,305	
その他の資産	22,311		19,982	
資 産 合 計	654,704	100.0	643,041	100.0

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成26年3月31日)		当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
		%		%
(負債の部)				
流 動 負 債	162,707	24.9	147,113	22.9
短期債務	488		30	
支払手形及び買掛金・未払金	85,218		82,029	
未払費用	39,897		30,961	
未払税金	6,340		3,583	
その他の流動負債	30,764		30,510	
繰延税金	2,167	0.3	—	—
退職給付引当金	50,683	7.7	49,055	7.6
その他の固定負債	6,369	1.0	6,888	1.1
負債の部合計	221,926	33.9	203,056	31.6
(純資産の部)				
株 主 資 本	430,509	65.8	437,655	68.1
資 本 金	64,100	9.8	64,100	10.0
資 本 剰 余 金	99,067	15.1	99,067	15.4
利 益 準 備 金	11,196	1.7	11,207	1.7
その他の剰余金	287,853	44.0	303,336	47.2
その他の包括利益(△損失)累計額	△ 15,162	△ 2.3	△ 23,491	△ 3.6
為替換算調整額	4,536		1,525	
退職年金債務調整額	△ 38,029		△ 37,676	
売却可能有価証券未実現損益	18,466		12,562	
デリバティブ純損益	△ 135		98	
自 己 株 式	△ 16,545	△ 2.5	△ 16,564	△ 2.6
非 支 配 持 分	2,269	0.3	2,330	0.3
純資産の部合計	432,778	66.1	439,985	68.4
負債及び純資産合計	654,704	100.0	643,041	100.0

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括損益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	期 別		前第1四半期連結累計期間 〔自平成25年4月1日 至平成25年6月30日〕		当第1四半期連結累計期間 〔自平成26年4月1日 至平成26年6月30日〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
売 上 高	174,584	100.0	197,219	100.0		
売 上 原 価	108,916	62.4	118,946	60.3		
売 上 総 利 益	65,668	37.6	78,273	39.7		
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	41,666	23.8	46,957	23.9		
試 験 研 究 開 発 費	10,988	6.3	11,502	5.8		
営 業 利 益	13,014	7.5	19,814	10.0		
そ の 他 費 用 (△ 収 益) - 純 額 -	312	0.2	△ 1,593	△ 0.9		
税 引 前 四 半 期 純 利 益	12,702	7.3	21,407	10.9		
法 人 税 等	3,989	2.3	6,422	3.3		
持 分 法 投 資 損 益 (△ 利 益)	△ 594	△ 0.3	△ 604	△ 0.3		
非 支 配 持 分 控 除 前 四 半 期 純 利 益	9,307	5.3	15,589	7.9		
非 支 配 持 分 帰 属 損 益 (△ 損 失)	60	0.0	96	0.0		
当 社 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 純 利 益	9,247	5.3	15,493	7.9		

(四半期連結包括損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
		金 額	金 額
非支配持分控除前 四半期純利益		9,307	15,589
その他の包括利益－税効果考慮後			
為替換算調整額		8,791	△ 3,046
退職年金債務調整額		288	353
売却可能有価証券未実現損益		1,394	△ 5,904
デリバティブ純損益		△ 202	233
その他の包括利益(△損失)計		10,271	△ 8,364
四半期包括利益		19,578	7,225
(内訳)			
非支配持分に帰属する四半期包括利益		137	61
当社株主に帰属する四半期包括利益		19,441	7,164

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別		当第1四半期連結累計期間	
	前第1四半期連結累計期間 〔自平成25年4月1日 至平成25年6月30日〕		〔自平成26年4月1日 至平成26年6月30日〕	
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
1. 非支配持分控除前四半期純利益		9,307		15,589
2. 営業活動によるキャッシュ・フローへの調整				
(1) 減価償却費		5,720		6,464
(2) 固定資産除売却損(純額)		160		2,576
(3) 投資有価証券売却益(純額)	△	1,122	△	3,976
(4) 退職給付引当金	△	1,187	△	1,067
(5) 繰延税金	△	134		930
(6) 持分法投資損益(△利益)	△	594	△	604
(7) 資産・負債の増減				
① 受取手形及び売掛金の減少		11,439		12,593
② たな卸資産の増加	△	5,459	△	6,123
③ その他の資産の減少		1,189		1,549
④ 支払手形及び買掛金・未払金の増加(△減少)		1,785	△	1,986
⑤ 未払税金の減少	△	896	△	2,714
⑥ 未払費用及びその他流動負債の減少	△	2,829	△	2,001
(8) その他の他(純額)		454		227
営業活動によるキャッシュ・フロー		17,833		21,457
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
1. 投資有価証券の売却による収入		1,909		4,418
2. 投資有価証券の取得	△	2,010	△	15
3. 資本的支出	△	5,809	△	7,148
4. 施設借用保証金の減少(純額)		74		19
5. 有形固定資産の売却による収入		224		172
6. 関連会社に対する投資及び貸付金の減少(△増加)		56	△	30
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 5,556		△ 2,584
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
1. 短期債務の増加(△減少)(純額)		3,827	△	457
2. 親会社の支払配当金	△	5,063	△	6,163
3. その他の他(純額)	△	177	△	4
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 1,413		△ 6,624
IV 換算レート変動の影響		1,184		△ 543
現金及び現金同等物の増減額		12,048		11,706
期首現金及び現金同等物残高		55,708		90,251
四半期末現金及び現金同等物残高		67,756		101,957
営業活動によるキャッシュ・フローの追記				
1. 支払利息の支払額		80		53
2. 法人税等の支払額		5,014		8,248
キャッシュ・フローを伴わない投資及び財務活動の追記				
資本的支出に関連する債務		218		494

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

(単位:百万円)

	I A B	EMC	A E C	S S B	H C B	その他	計	消去調整他	連結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	66,768	23,693	29,290	12,774	20,946	19,533	173,004	1,580	174,584
(2)セグメント間の内部売上高	1,778	11,494	34	884	2	6,582	20,774	△ 20,774	—
計	68,546	35,187	29,324	13,658	20,948	26,115	193,778	△ 19,194	174,584
営業費用	60,891	33,647	27,114	15,492	18,734	23,949	179,827	△ 18,257	161,570
営業利益(△損失)	7,655	1,540	2,210	△ 1,834	2,214	2,166	13,951	△ 937	13,014

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

(単位:百万円)

	I A B	EMC	A E C	S S B	H C B	その他	計	消去調整他	連結
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	78,248	26,312	32,778	13,130	22,075	23,355	195,898	1,321	197,219
(2)セグメント間の内部売上高	1,398	11,818	293	994	37	6,078	20,618	△ 20,618	—
計	79,646	38,130	33,071	14,124	22,112	29,433	216,516	△ 19,297	197,219
営業費用	67,739	35,748	30,796	15,602	20,214	25,636	195,735	△ 18,330	177,405
営業利益(△損失)	11,907	2,382	2,275	△ 1,478	1,898	3,797	20,781	△ 967	19,814

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	米州	欧州	中華圏	東南アジア 他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	76,520	22,211	23,850	33,335	18,668	174,584	—	174,584
(2)セグメント間の内部売上高	38,527	679	358	22,842	5,086	67,492	△ 67,492	—
計	115,047	22,890	24,208	56,177	23,754	242,076	△ 67,492	174,584
営業費用	107,864	23,174	23,568	51,347	21,533	227,486	△ 65,916	161,570
営業利益(△損失)	7,183	△ 284	640	4,830	2,221	14,590	△ 1,576	13,014

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	米州	欧州	中華圏	東南アジア 他	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	78,838	27,528	26,316	45,025	19,512	197,219	—	197,219
(2)セグメント間の内部売上高	42,648	791	432	20,420	5,673	69,964	△ 69,964	—
計	121,486	28,319	26,748	65,445	25,185	267,183	△ 69,964	197,219
営業費用	109,658	27,728	25,978	59,795	22,720	245,879	△ 68,474	177,405
営業利益(△損失)	11,828	591	770	5,650	2,465	21,304	△ 1,490	19,814

(注) 日本以外の区分に属する主な国または地域

- (1) 米州……………米国・カナダ・ブラジル
- (2) 欧州……………オランダ・英国・ドイツ・フランス・イタリア・スペイン
- (3) 中華圏……………中国・香港・台湾
- (4) 東南アジア他……………シンガポール・韓国・インド・豪州

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

(単位:百万円)

	米州	欧州	中華圏	東南アジア他	計
I 海外売上高	22,605	25,216	33,397	19,629	100,847
II 連結売上高					174,584
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	13.0	14.5	19.1	11.2	57.8

当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

(単位:百万円)

	米州	欧州	中華圏	東南アジア他	計
I 海外売上高	28,199	27,280	45,195	20,285	120,959
II 連結売上高					197,219
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	14.3	13.8	22.9	10.3	61.3

(注) 各区分に属する主な国または地域

- (1) 米州……………米国・カナダ・ブラジル
- (2) 欧州……………オランダ・英国・ドイツ・フランス・イタリア・スペイン
- (3) 中華圏……………中国・香港・台湾
- (4) 東南アジア他……………シンガポール・韓国・インド・豪州

4. 補足情報

(1) 連結業績概要

		第1四半期累計			通期		
		平成26年3月期 第1四半期	平成27年3月期 第1四半期	前年同期比	平成26年3月期	平成27年3月期 予想	前期比
売上高	百万円	174,584	197,219	113.0%	772,966	800,000	103.5%
営業利益 (率)	百万円 (%)	13,014 (7.5%)	19,814 (10.0%)	152.3% (+2.5P)	68,055 (8.8%)	74,000 (9.3%)	108.7% (+0.5P)
税引前四半期(当期)純利益 (率)	百万円 (%)	12,702 (7.3%)	21,407 (10.9%)	168.5% (+3.6P)	62,007 (8.0%)	71,000 (8.9%)	114.5% (+0.9P)
当社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	百万円	9,247	15,493	167.5%	46,185	51,000	110.4%
1株当たり当社株主に 帰属する四半期(当期)純利益	円 銭	42円01銭	70円40銭	+28円39銭	209円82銭	231円73銭	+21円91銭
潜在株式調整後 1株当たり当社株主に 帰属する四半期(当期)純利益	円 銭	—	—	—	—	—	—
総資産	百万円	591,153	643,041	108.8%	654,704		
株主資本 (株主資本比率)	百万円 (%)	386,394 (65.4%)	437,655 (68.1%)	113.3% (+2.7P)	430,509 (65.8%)		
1株当たり株主資本	円 銭	1,755円34銭	1,988円57銭	+233円23銭	1,956円06銭		
営業活動による キャッシュ・フロー	百万円	17,833	21,457	+3,624	79,044		
投資活動による キャッシュ・フロー	百万円	△5,556	△2,584	+2,972	△31,125		
財務活動による キャッシュ・フロー	百万円	△1,413	△6,624	△5,211	△16,298		
現金及び現金同等物 四半期末(期末)残高	百万円	67,756	101,957	+34,201	90,251		

(注) 連結子会社数は154社、持分法適用関連会社数は11社です。

(2) 連結セグメント別売上高実績

(単位：億円)

		平成26年3月期 第1四半期累計	平成27年3月期 第1四半期累計	前年同期比
I A B	国 内	263	288	110.1%
	海 外	405	494	121.8%
	計	668	782	117.2%
E M C	国 内	70	64	91.8%
	海 外	167	199	119.2%
	計	237	263	111.1%
A E C	国 内	61	68	111.6%
	海 外	232	260	112.0%
	計	293	328	111.9%
S S B	国 内	127	131	103.1%
	海 外	1	0	37.9%
	計	128	131	102.8%
H C B	国 内	68	66	96.8%
	海 外	141	155	109.5%
	計	209	221	105.4%
その他	国 内	135	133	97.8%
	海 外	60	101	168.8%
	計	195	234	119.6%
消去調整他	国 内	14	12	90.7%
	海 外	2	1	44.9%
	計	16	13	83.6%
合 計	国 内	738	762	103.4%
	海 外	1,008	1,210	119.9%
	(海外比率)	(57.8%)	(61.3%)	(+3.5P)
	計	1,746	1,972	113.0%

(3) 連結セグメント別営業利益実績

(単位：億円)

	平成26年3月期 第1四半期累計	平成27年3月期 第1四半期累計	前年同期比
I A B	77	119	155.5%
E M C	15	24	154.7%
A E C	22	23	102.9%
S S B	△ 18	△ 15	—
H C B	22	19	85.7%
その他	22	38	175.3%
消去調整他	△ 10	△ 10	—
合計	130	198	152.3%

(4) 期中平均レート実績

(1外貨当たり 円)

	平成26年3月期 第1四半期累計	平成27年3月期 第1四半期累計	前年同期比
USD	98.3	102.0	+ 3.7
EUR	127.6	139.9	+12.3

(5) 連結セグメント別売上高予想

(単位：億円)

		平成26年3月期	平成27年3月期 予想	前期比
I A B	国 内	1,194	1,230	103.0%
	海 外	1,723	1,770	102.7%
	計	2,917	3,000	102.8%
E M C	国 内	281	260	92.5%
	海 外	696	750	107.8%
	計	977	1,010	103.4%
A E C	国 内	284	250	88.0%
	海 外	982	1,035	105.4%
	計	1,266	1,285	101.5%
S S B	国 内	824	845	102.6%
	海 外	3	10	321.5%
	計	827	855	103.4%
H C B	国 内	308	325	105.5%
	海 外	585	660	112.9%
	計	893	985	110.3%
その他	国 内	510	500	98.0%
	海 外	279	330	118.2%
	計	789	830	105.1%
消去調整他	国 内	47	35	76.1%
	海 外	14	0	0.0%
	計	61	35	57.4%
合 計	国 内	3,448	3,445	99.9%
	海 外	4,282	4,555	106.4%
	(海外比率)	(55.4%)	(56.9%)	(+1.5P)
	計	7,730	8,000	103.5%

(6) 連結セグメント別営業利益予想

(単位：億円)

	平成26年3月期	平成27年3月期 予想	前期比
I A B	388	400	103.2%
E M C	87	92	106.3%
A E C	91	92	101.3%
S S B	56	65	117.1%
H C B	75	80	106.0%
その他	87	95	109.5%
消去調整他	△ 103	△ 84	—
合計	681	740	108.7%

(7) 期中平均レート予想

(1外貨当たり 円)

	平成26年3月期	平成27年3月期 予想	前期比
U S D	100.1	100.6	+ 0.5
E U R	134.0	136.5	+ 2.5